

広報 だんち

2025
12月号

NO.527

(協)焼津水産加工
センター発行

焼津市惣右衛門1280番地の2

令和7年12月22日発行

編集・総務係

TEL・054-624-2111

FAX・054-623-3834

HP・<http://www.yaizufpc.or.jp>

12月団地の言葉

「油断禁物 仕事も体もしっかり管理」

この広報誌が発行される頃には令和7年も残り僅かとなります。組合事務所は12月26日（金）をもって年内の業務終了となり、新年1月5日（月）より業務を開始いたします。今年も組合員及び組合役職員、お取引先様や地元自治会の皆様のご協力を賜り、大きなトラブル無く無事に一年を終える事が出来ること、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今年も団地を含む焼津市内では災害に泣かされました。7月にはカムチャツカ半島沖地震の影響で津波が発生し、焼津市でも沿岸部の住民に対して避難指示が発令された事はご記憶にあるかと思えます。日本で起きた地震ではなかったので、我々も避難するタイミングなどの判断に苦慮し、しかも真夏の炎天下での高所避難と言う事も相まって、今後万が一同様の事態が発生した時にどう対応すべきか課題が残りました。また、組合ではこの一件をキッカケに「防災措置規程」の見直しを図りましたが、完成版を公開する前に9月の台風、竜巻の被害を受け更に加筆する

事になりました。奇しくも8月に焼津市防災部による出前講座を受講し、台風や風水害等に対する対応を勉強したタイミングに想定外の竜巻被害・・・団地でも一部の組合員の施設が被災し、爪痕が残りました。その後、組合事務局から気象庁が公開している「竜巻から身を守る」と言う冊子を各工場長に配布し、竜巻に対する知識を身に付けて頂くよう努めました。

12月7日（日）には静岡県の定める「地域防災の日」に合わせ、焼津市内でも「地域防災訓練」が実施されました。各町内会で自治会役員の皆様を中心となり救護訓練や炊き出し訓練、避難所運営訓練等が行われました。この様に非常事態に備えて様々な状況を想定し、適切な行動を学ぶのが防災訓練です。学んでいない事は本番でも出来ません。7月の避難指示発令も結果として「抜き打ち訓練」の様でしたが、以前この紙面で書いた「プロアクティブの原則」の1つ「最悪の事態を想定して行動せよ」の言葉を再び書かせて頂きます。また、防災訓練の翌日には青森県東方沖を震源とする地震が発生し、八戸市では震度6強が観測されました。この地震を受けて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されましたが、これは「今後1週間、大規模

地震が発生する可能性が普段より高い」と言う内容で、令和6年の夏に発表された「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」の北海道・三陸沖バージョンと言えわかりやすいと思います。あの時と同様に、過度に恐れる必要はありませんが、いつ起きても適切に行動出来る様に意識を高めておく必要はあります。年末に不安な気持ちになってしまいましたが、来年は災害の起きない1年になって欲しいと切に願います。

それでは皆さま良い新年をお迎え下さい。

今月のだんちの言葉はまる福さんの作品です。

今月の紙面

p2

12月の定例役員会／焼津市自主防災訓練に実習生が参加／焼津大漁祭IN羽田に業務課が出店しました

p3

工団連関東ブロック役職者研修会に参加／年末の交通安全県民運動が始まっていきます／テレビ放送のお知らせ／年末年始休業日のお知らせ

p4

カツオ情報／百味窓

1月の組合行事予定

1月13日（火）

定例役員会

1月の暦

1月1日（木）

元旦

1月12日（月）

成人の日

◆12月の定例役員会◆

去る12月8日に、12月度定例役員会が開催されました。

1 総務委員会開催報告について

総務委員会が開催され、「職員の冬季賞与支給について」が持回り稟議にて審議された。11月に実施した職員人事考課の結果を基として、事務局により内部規程に従い支給案を算出し、これを委員に伺い承認された。

2 連絡・報告事項

そのほか、「鯉節加工部改修に係る行政手続への対処について」「地元自治会との意見交換会日程について」「人事関連報告」ほか2項目について了承された。

◆焼津市地域防災訓練に 実習生が参加◆



12月7日（日）に、焼津市内で地域住民の防災訓練が行われました。

ポとビレッジハウス惣右エ門に住んでいるミヤンマー、タイ、インドネシアの実習生が、それぞれの組長にリードされ、防災訓練に参加しました。

した。

今回初めての参加となるインドネシアからの実習生13名は、ミヤンマー人・タイ人の先輩実習生と共に、台風や地震への訓練を経験し、これから日本での生活における基礎を築くことが出来ました。

多くの実習生は母国で地震の経験が殆どなく、特に津波に対する認識が薄い状態です。来日後の集合講習で地元の消防局による講習を受けましたが、今回の防災訓練への参加により、防災意識をさらに高めることができました。

今後地元の皆様と一体となり、防災訓練、河川掃除、環境整備等の活動に積極的に参加することで、地域社会との共生を実現できるよう、皆さんには引き続き頑張る努力してほしいです。

◆焼津大漁祭IN羽田に 業務課が出店◆

11月22日、23日（土・日）の2日間、羽田空港第一ターミナルで行われた『焼津大漁祭IN羽田空港』に出店してきました。多くの人が行き交う賑やかな羽田空港での初イベントです。

組合と市内3事業者の計4社で焼津特産品の試食販売を行いました。各社特色のある自慢の特産品が多数並んでいる為、興味を持ってくださる方が非常に多く、手に取って確認し、自宅用やお土産用にと、たくさんの方にご購入頂きました。終日お客様が途切れる事がなく、1日目の終了前には売り切れてしまった商品も多数ありました。

また特別イベントとして購入者全員に焼津の特産品が当たるガラポンくじも行い、特賞が出た時はブース内が一体となって盛り上がりしました。

初めての出店場所だった為、どこまでアピールできるのか不安な面もありましたが、たくさんの方にお立ち寄り頂き、お客様との会話を楽しみながら団地製品をアピールできた2日間でした。

焼津市公式マスコットキャラクター「やいちゃん」もサンタクロース姿で登場し、イベントに花を添えました。



◆工団連関東ブロック 役職者研修会に参加◆

全国の工場団地組合を構成員とする全国工場団地協同組合連合会（以下、工団連）の地域会である関東ブロック協議会にて研修会が開催され、当組合から水野理事（同協議会監事）が出席致しました。

同協議会の事務局は2年任期で各都県を輪番していますが、現在の事務局担当は千葉鉄工業団地協同組合（千葉市）です。この研修会は、担当組合の地区にて開催され、取り巻く行政制度や産業環境などを視察しておりま

す。今回は総勢10組合19名の参加でした。

まずは、千葉市役所を訪問し、経済部にて「企業立地補助制度」についてレクチャー。同市への企業進出の受入体制を紹介し、産業振興の推進をPRされました。続いて危機管理部にて「危機管理センター」の機能を説明。市役所庁舎内に有事の際の情報集約設備を備えた会議室【写真】が紹介されました。昼夜問わないことも想定して仮眠室等も整備、また外部の関連業者などの控室、報道陣向けのプレスルームなども隣接させるなど、深い想定の上で整備していることがうかがえました。

千葉市職員の案内にて、千葉公園内にある木製バンクによる屋内競輪場「TIPT STAR DOME」を視察。公営競輪という関係から千葉市の運営にて2021年に竣工。

現在は民間企業に運営委託し、施設名のネーミングライツも(株)MIXIが受け、現在の名称となっています。施設としても、競技と



しても全国の公営競輪とは趣を異にしており、出走選手のクラス分別もここではなく、またいわゆる車券もネット販売のみ。屋内であることを活かして照明などにもこだわりを見せるなど、ファン層拡大に努めていること

が伝わりました。

その他、観光や住民サービス施設などを訪問し、行政の「住みやすさ」を求める姿勢が伝わっていました。今回、集合が千葉みなと駅近くでありましたが、同駅はJR京葉線のほか懸垂式モノレールの「千葉都市モノレール」が停まります。こうしたモノレールや路面電車といった交通インフラは近時注目されていて、バスよりも定時性があり、交通渋滞緩和に効果があります。今後一層拍車がかかる高齢者社会を見据えればこうした都市機能を備える必要があると感じました。

◆年末の交通安全県民運動が始まっています◆

「安全をつなげて広げて事故ゼロへ」

12月15日(月)から31日(水)まで「年末の交通安全県民運動」が実施中です。重点目標として「横断歩行者の安全確保と高齢者の交通事故防止」「飲酒運転等危険運転の根絶」の3つが掲げられています。工場長連絡協議会では、毎月3回「0の付く日」に交通安全立哨活動を継続して実施し、団地従業員の皆さんに対し交通安全を呼び掛けています。日没が早まるこの時期には「ピカッと作戦!」を積極的に展開し、自動車・自転車・歩行者のそれぞれが早目にライトを点灯し、互いの存在をアピールする事で交通事故のリスクを減らす事が出来ます。

運動期間中だから意識するのではなく、普段から交通安全を心掛けて下さい。

テレビ放送のお知らせ



第一テレビ「the NEXT」で加工センターでの取材の様子が放送されます。焼津市の情報発信を行っている「やいナビ」の尾原さんが番組で取り上げられますが、その取材の様子を加工センター化成品場にて撮影していただきました。左記日程で放送予定です。

放送日 1月13日(火)

時間 夜9時54分 ※変更の可能性有

放送終了後、公式ホームページより見逃し配信もありますので、ぜひご覧ください。

年末年始休業日のお知らせ

組合事務所は、12月27日(土)から1月4日(日)までの間、年末年始休暇になります。

1月5日(月)より通常営業を開始しますので、宜しくお願い申し上げます。

良いお年を
お迎え下さい



2025年（1月～10月計）の輸出 ※輸出はFOB価格、輸入はCIF価格
※財務省貿易統計データを加工して作成



カツオ

<輸 出>		2025年		2024年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
タ	イ	10,639	2,233,734	25,294	4,887,336
フ	リ	1,743	419,590	3,390	787,824
ベ	ナ	13	1,758	25	5,033
ト	ム				
計		12,398	2,657,358	29,609	5,847,515

<輸 入>		2025年		2024年	
		数量 t	価額 (千円)	数量 t	価額 (千円)
イ	ネ	25,638	5,421,720	25,344	5,272,101
ン	シ	859	148,798	—	—
ド	ア	286	60,434	299	64,219
ベ	ム				
ト	ネ				
計		27,397	5,751,937	26,297	5,470,509

FOB (Free on board)

買手の指定した本船に商品を積み込むまでの費用を売り手が負担する条件

CIF (cost, insurance and freight)

買主指定の輸入港までの運賃と保険料を付け加えた条件

※水産庁統計データ冷蔵水産物流通統計月末在庫を加工して作成

冷凍かつお月末在庫量	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2025年(単位:t)	22,194	23,028	19,309	20,761	19,979	17,142	15,898	18,478	19,240				176,029

§ 国内主要漁港市場の水揚げ (2025年1月～10月計)

※水産庁統計データ産地水産物流通統計を加工して作成

情報

		2025年		2024年		前年比%	
		数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<生カツオ>		17,893	556 円	49,100	325 円	36%	171%
<冷カツオ>		132,256	270 円	148,008	257 円	89%	105%
<カツオ合計>		150,149	304 円	197,108	274 円	76%	111%

§ 焼津水揚げ (2025年1月～11月計)

※焼津漁業協同組合統計データ取扱高対比表を加工して作成

		2025年		2024年		前年比%	
		数量 t	単価	数量 t	単価	数量	単価
<1本釣カツオ>		25,107	345 円	9,381	366 円	268%	94%
<巻網カツオ>		46,636	227 円	59,306	223 円	79%	102%
<カツオ合計>		71,743	268 円	68,687	243 円	104%	110%

百味窓

秋茄子は嫁に食わすな

もう冬になり、秋の茄子が残っているところは少ないかもしれない。ビニールハウス栽培がない時代には、「秋茄子は嫁に食わすな」といったことわざがありますが、色んな解釈があり実に面白い。「憎たらしい嫁には貴重で美味しい秋茄子を食べさせるのはもったいない」という説がある一方、「秋茄子は女性の体を冷やしてしまうから、大事な嫁に食べさせてはならない」とも言われています。また、「秋茄子は種がないから嫁に与えると子供ができなくなってしまうかもしれない」といった説もあります。いずれも「秋茄子は嫁に食わすな」です。農作物栽培の技術が進歩により、種がなく、美味しいものが増えているので、食べられないとかわいそうではないのでしょうか。古い言い方は男尊女卑のニュアンスを含めていると言えますね。

